



森林ふれあい情報

平成28年3月
第38号

林野庁中部森林管理局
木曽森林ふれあい推進センター
〒397-0001 長野県木曽郡木曾町福島1250-7
TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151
E-mail:kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

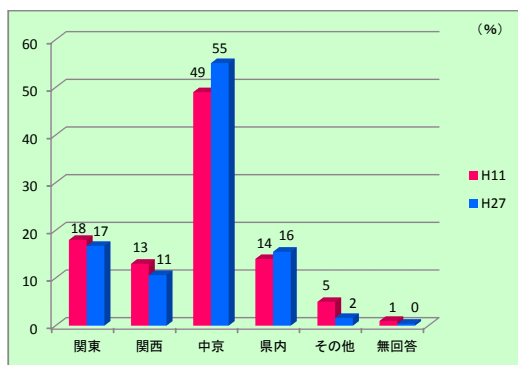
中部森林管理局・森林総合研究所 技術交流会

2月16日、17日に中部森林管理局と森林総合研究所の技術交流会が行われ、16日の研究発表会には、当センターから「赤沢自然休養林のアンケート調査について」と題して、木曽悠久の森（長野県木曽・岐阜県裏木曽地域にまとまる温帯性針葉樹林等の保存と復元を目的にした区域）内に位置する赤沢自然休養林で、今年度実施した来園者からのアンケートに基づき利用状況等について報告を行いました。

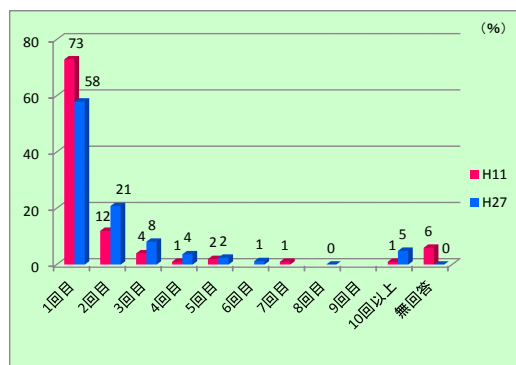
アンケートに協力された利用者は中京方面からの来訪者が半数を占め、森林鉄道とその周辺に設置されている遊歩道の利用割合が高く、一方で滞在時間は1～2時間が多くなり、平成11年度調査に比べて滞在時間は短くなる傾向でした。

また、休養林の中心地には森林資料館などの展示施設がありますが、11年度調査の利用状況に比べて横ばいか減少しており、滞在時間の短縮化が一因にあるのではと考えられました。

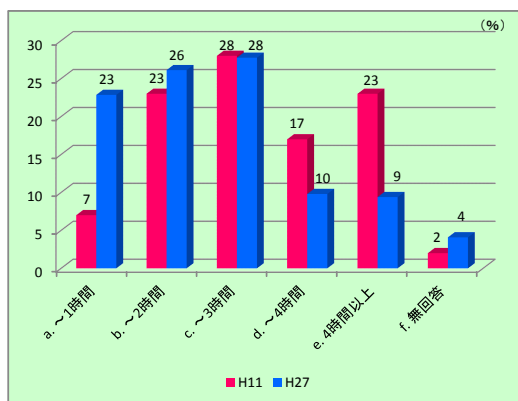
今回実施したアンケート調査は、温帯性針葉樹林の厳格な保存と、森林が持つレクリエーション機能との関わりを検討する材料として実施したところですが、赤沢自然休養林の今後の管理・運営に役立てていただきたいと思います。



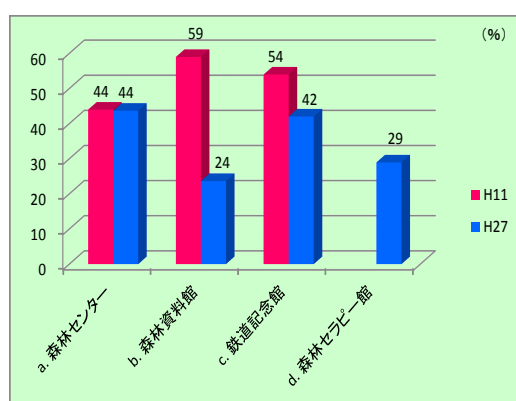
どちらから来ましたか？



今回訪れたのは何回目ですか？



どれくらい滞在しましたか？



どの施設に入りましたか？

木曾の遊歩道を巡る 『パズルラリー』

当センターでは、木曾路の遊歩道を散策しながら森林に親しみ、森林の大切さを理解してもらうとともに、木曾地域の誘客策のひとつとして、平成25年度に、パンフレット「木曾路ナチュラルトレッキング Map」を作成しました。

今年度、このマップを更に有効に活用し誘客を促進するため、木曾路の各遊歩道を歩きながら6個のパズルを集めて板に貼ると絵が完成し、賞品には絵を飾るための専用の台座が貰え、さらに、2路線増設しリニューアルしたマップに掲載した12箇所の遊歩道を全て制覇すると、木曾ひのき板にカラー印刷した絵を、限定100枚プレゼントする「パズルラリー」を実施することとしました。

このパズルラリーで使用する絵は、思い出としても飾り物としても価値があるものが好ましいと考え、木曾の歴史や文化を感じさせるものとして、江戸時代に描かれた浮世絵「木曾街道六十九次」や「木曾式伐木運材図」を用いることとしました。

また、パズルやパズルを貼る板には、木曾で生産される木曾ひのき材を用い、高級感もあるものとしてしました。

しかし、この取り組みの問題点は、木曾路の各市町村に遊歩道が点在し、移動が大変なこと。また、1箇所当たりの散策に時間を要するため完成するには数日掛かるため、参加者が少ないことが想定されます。

このことから、多くの方に参加して貰うための対策として、1日で容易に達成出来、大勢の客が訪れる「赤沢自然休養林版」にも併設してPRを図るとともに、1年では達成が難しいことから2年間で実施することとしました。

このパズルラリーは、当センターだけの取り組みではなく、木曾地域の森林管理署や各観光協会等関係団体と連携を深め、さらによりアイデアを出し合い、多くの方に来ていただけるように取り組んでいきたいと考えています。



パズル



完成品